参考資料1

平成26年度　障害者虐待対応状況調査＜養護者による障害者虐待＞

相談通報

4,458件

主な通報届出者内訳

- ●相談支援専門員・障害者福祉施設従事者等　(29.8%)
- ●本人による届出　(21.4%)
- ●警察　(18.4%)
- ●当該市区町村行政職員　(7.9%)
- ●家族・親族　(6.0%)

都道府県

98件

市区町村に連絡した事例　65件

明らかに虐待でないと判断した事例　33件

65件

4,360件

市区町村

＊平成25年度に通報・届出があった事案115件を含む

事実確認調査

事実確認調査を行った事例　3,865件

うち、法第11条に基づく立入調査　72件

事実確認調査を行っていない事例　708件

・明らかに虐待ではなく調査不要　594件
＊都道府県判断の33件を含む
・調査を予定、又は検討中　114件

虐待の事実が認められた事例

1,666件

（死亡事例：3人）

被虐待者数 1,695人

虐待者数 1,856人

虐待事例に対する措置

虐待者と分離した事例　699件※1

① 障害福祉サービスの利用　39.2%
② 措置入所　10.6%
③ ①、②以外の一時保護　18.9%
④ 医療機関への一時入院　14.6%
⑤ その他　16.7%
①～⑤のうち、面会制限を行った事例　37.6%

虐待者と分離しなかった事例 740件※1

① 助言・指導　53.2%
② 見守りのみ　27.9%
③ サービス等利用計画見直し　14.6%

現在対応中・その他　232件

介護保険サービスを利用、虐待者・被虐待者の転居、入院中等

成年後見制度の審判請求　121件

うち、市町村長申立　59件

虐待者（1,856人）

- ● 性別
  男性（63.9%）、女性（35.9%）
- ● 年齢
  60歳以上（35.6%）、50～59歳（23.0%）
  40～49歳（20.5%）
- ● 続柄
  父（21.3%）、母（20.2%）
  兄弟姉妹（18.6%）

虐待行為の類型（複数回答）

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
64.9%	4.9%	33.0%	16.4%	22.5%

被虐待者（1,695人）

- ● 性別　男性（34.1%）、女性（65.9%）
- ● 年齢
  40～49歳（22.2%）、20～29歳（20.4%）
  50～59歳（19. 1%）
- ● 障害種別（重複障害あり）

身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
23.8%	51.2%	36.4%	1.3%	2.2%

- ● 障害支援区分のある者　(51.6%)
- ● 行動障害がある者　(31.1%)
- ● 虐待者と同居　(82.0%)
- ● 世帯構成
  両親と兄弟姉妹（11.4%）、両親（10.7%）、
  配偶者（10.5%）、配偶者・子（9.7%）、単身（9.5%）

※1　虐待者との分離については、複数の被虐待者について異なる対応（分離と非分離）を行った事例が含まれるため、虐待事例に対する措置の合計件数は、虐待が認められた事例1,666件と一致しない。